

## 魅力的な教材の開発や活用を行った事例

**主題名** 「命をみつめて」 3－（1）生命尊重

**資料名** 「はるかのひまわり」（出典：日本標準） 小学校第4学年

### 1 本時の目標

震災に見舞われた人々の気持ちを考えることを通して、自他の命を大切にしようとする心情を育てる。

### 2 本時の主題設定の理由

#### （1）ねらいとする価値

自分の命、他人の命、この世にある命が全て大切であることや、かけがえのないものであることを、私たちは理解している。しかし、テレビを代表とするメディアから得られる情報からは、命を粗末にしたり、軽んじたりする言動を見ることが多いように思う。子どもたちが日常生活の中で、命の大切さを実感したり、心で感じたりすることも、残念ながら少なくなっているのが実情である。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災では、多くの方の命が失われ、被災した人たちは今もつらさや悲しさを抱えながらも、気丈に復興のために努力をしている。このような未曾有の事態を見つめた私たちだからこそ、改めて命について考え、命の大切さや生きていることの素晴らしさに気付かせることで自他の命を尊く思う心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

#### （2）ねらいにかかわる児童の実態

生命が大切であることを理解している子どもは大変多い反面、日常生活の中で友だちが嫌がる言葉を言ったり、命を軽んじるような言葉を言ったりすることもある。言葉だけの理解を超えて、生命の尊厳を強く訴えられるような心を育てたい。

#### （3）資料について

本資料は、阪神淡路大震災で被災し、妹のはるかさんを亡くした姉いつかさんが、悲しみや自分への罪悪感を乗り越えて、人の命の大切さを訴えるようになった話である。受け止めきれないほどつらく悲しい思いを乗り越えるきっかけや、その後の思いについて考えることで、被災した人の思いや命の尊さを感じる時間にしたい。

#### （4）新学習指導要領の趣旨を生かし道徳の時間のねらい達成のために活用した手だて

〈魅力的な教材の開発や活用〉

東日本大震災でボランティアをした方をゲストティーチャーに迎えて、被災地の人々の様子やボランティアを経験して感じたことや考えたことについて、映像を見ながら、話を聞く。震災の恐ろしさや震災に見舞われた人々の気持ちを考えることで、自他の命の大切さを感じる心情がより高まることが期待できる。

〈説話の工夫〉

被災した子どもたちの作文を読み聞かせることによって、児童により近い視点で震災について考えさせ、被災者の気持ちに寄り添えるようにする。

### 3 指導と評価の計画（本時の展開）

過程	学習活動と主な発問	学習の様子を見取る視点	指導上の工夫・留意点
導入	1 「はるかのひまわり」とは、何だと思 うかを話し合う。 ○「はるかのひまわり」とは、どんなひま わりだと思いますか。	◇「はるかの」という言葉 の意味を考えている。	○ひまわりの種を入 れた袋を提示して 資料に関心をもて るようにする。
展 開	2 資料「はるかのひまわり」について 話し合う。 ○なぜ、いつかさんは、「はるかのひまわ り」を「ただの花」だといったのか。	◇主人公のつらい気持ちに 寄り添って考えている。	○友だちの意見を聞 き、多様な考え方に ふれさせる。  ○コットンという心 の変化の「音」につ いて、考えさせる。
	☆期待する姿が見られなかった場合の指導 挿絵の主人公の表情に注目させる。	◇つらい思いを乗り越えよ うとする主人公の思いを 理解しようとしている。	
前 段	○「コットン」と音をたてたとき、いつかさ んの心にどんな思いが生まれてきたの でしょう。	◇つらい思いを乗り越えよ うとする主人公の思いを 理解しようとしている。	○自分の命、他人 の命の意味を考 えさせる。
	☆期待する姿が見られなかった場合の指導 気持ちの変化の前後の場面を読んだり、見 つめさせたりして、主 人公の心の変容を捉えさせる。	◇妹の命の大きさを受 け止め、多くの人に命 の大切さを訴える主 人公の気持ちを理解 しようとしている。	
展 開 後 段	◎いつかさんが、どんなことを思いな がら、子供たちにひまわりの種を手 渡しているのでしょうか。	◇妹の命の大きさを受 け止め、多くの人に命 の大切さを訴える主 人公の気持ちを理解 しようとしている。	○電子黒板での映像 を通して、GTの話 がより深く伝わる ようにする。
	☆期待する姿が見られなかった場合の指導 主人公の言葉を、音読して、主人公の思いを捉えさせる。		
終 末	4 震災にあった児童の作文を読み聞か せる。	◇今日の話し合いやGTの 話をもとに気付いた価値 を深めようとしている。	○自分の命ばかりで なく、多くの人の命 の尊さを感じられ るようにする。

## 4 学習指導と評価の様子

### (1) 本時の評価

震災に見舞われている人たちの気持ちに寄り添い、自他の命を大切にしようとする思いをもったりしている。(ワークシート)

※評価のための資料として、以下のような学習シートを活用した。

<div style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">★</span> <span style="margin-left: 100px;">◎</span> <span style="margin-left: 100px;">○</span> </div>			今日のお話 (	<p style="text-align: center;"><b>道徳の時間ワークシート</b></p> <p style="text-align: center;">年 組 ( )</p> <p style="text-align: center;">)</p> <p style="text-align: center;">道徳の時間のやくそく</p> <p>○ 話に出てくる人になったつもりで読みましょう。</p> <p>○ こたえは一つではありません。いろいろな意見を出しましょう。</p> <p>○ 一人ひとりの答えが、正しい答えです。よくききましょう。</p> <p>○ 友達の声に耳をかたむけながら、自分の考えとくらべてみましょう。</p>
			友達の意見メモ )	

### (2) 継続する事後指導

- ・心のノート3・4年生 P56・57 「生きているってどんなこと」を活用し、自他の命を見つめ、生命の尊さを感じることができるようにする。
- ・震災に見舞われている人たちの気持ちに寄り添い、自他の命を大切にしようとする思いをもったりしている。